

マンションと地域とのつながりに関する実態調査 実施要項

1 調査実施の背景

近年、マンション居住者の高齢化や単身世帯の増加、災害時の対応など、マンション内だけでは解決が難しい課題が増えている。また、住民同士や地域とのつながりの希薄化が進む中、地域における見守りや支え合い、防災活動の重要性が高まっている。

本調査は、大野城市内マンション管理組合と区をはじめとする地域コミュニティとの関係性や、民生委員・児童委員、福祉委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政等との連携状況を把握し、マンションと地域とのつながりづくりを推進するとともに、誰もが安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現に向けた取組の検討に活用することを目的とする。

2 目的

大野城市内マンション管理組合と区をはじめとする地域コミュニティとのつながりづくりを推進するため、管理組合の運営状況や地域との関係、防災活動、見守り活動等の実態を把握し、今後の連携促進及び支援施策の検討に活用することを目的とする。

3 調査対象

大野城市内の分譲マンション管理組合

※回答者は理事長、役員又は管理組合の状況を把握している方を想定

※大野城市内の分譲マンション数 150カ所（令和8年（2026年）6月30日時点）

4 調査内容

- （1）回答者
- （2）基礎情報
- （3）管理組合の活動状況
- （4）地域コミュニティとの関係
- （5）防災対策
- （6）福祉対策
- （7）情報発信
- （8）今後の地域とのつながり・連携

5 調査方法

郵送によるアンケート調査とする。

調査票、依頼文及び返信用封筒を送付し、回答後に返送いただくものとする。

必要に応じて Google フォームによる回答も受け付ける。

なお、本調査への回答は任意であり、回答いただける範囲で協力をお願いする。

6 調査スケジュール

令和8年6月	調査票素案作成
7月17日	関係者会議において調査内容協議
8月中旬	区長会幹事会・区長会に周知
下旬	調査票確定 調査票発送
9月30日	回答期限 未回答先への確認
10月上旬	再送対応及び最終回収
中旬～下旬	集計・分析
11月以降	結果共有及び今後の取組検討

7 回答の取扱い

- ・回答内容は本調査の目的以外には使用しない。調査結果を公表する場合は、統計的に処理し、個人及びマンションが特定されないよう適切に取り扱う。
- ・なお、マンションと地域との連携や支援を進めるため、回答内容については、大野城市社会福祉協議会から大野城市、関係する区、担当民生委員・児童委員その他関係機関へ提供する場合があります。

8 想定される成果

①「地域とのつながりがあるマンション」の特徴を明らかにできる

- ・「つながりがある」と回答したマンションは、理事会開催頻度や交流活動、防災活動などにどのような特徴があるかを分析する。

②防災・福祉など、アプローチ方法を分類できる

- ・防災への関心が高いマンション、福祉課題が大きいマンション、交流を求めるマンションなど、入口となるテーマ別に分類する。

③地域連携のキーマン・協力マンションを把握する

- ・地域との連携意欲が高く、活動実績のある管理組合や理事長等を把握し、モデル事業や情報交換会、講座等への協力・参加を依頼する対象として把握する。

9 調査結果の活用

調査結果は次の事項の検討資料として活用する。

- (1) マンションと地域とのつながりづくりの推進
- (2) 区との連携促進
- (3) 防災及び見守り体制の充実
- (4) 社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員児童委員等との連携強化
- (5) 行政及び関係機関による支援施策の検討

10 実施体制

主 催 社会福祉法人大野城市社会福祉協議会
事務局 大野城市社会福祉協議会 地域課 地域・団体支援係
協 力 大野城市
社会福祉法人福岡県社会福祉協議会
一般社団法人福岡県マンション管理士会

11 財源・助成

本調査は、「令和8年度地域共生社会づくりのための市町村社協活動支援事業」の助成を受けて実施する。



[問い合わせ先]

社会福祉法人

大野城市社会福祉協議会（担当：永田）

住所 福岡県大野城市曙町2丁目3番2号

電話 (092) 572-7700/FAX (092) 593-5829

メール shakyo@onojo-vc.jp

URL <https://www.onojo-vc.jp/>